

2023年3月期
第1四半期 決算説明資料〔IFRS〕
 (2022年4月－2022年6月)

株式会社 LIXIL
 2022年7月29日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

本日のポイント

2023年3月期 第1四半期 業績の総括

下記理由により前年同期比増収減益。ただし、利益は回復傾向

1) コスト・インフレーション

- 直近では、主要原材料の市場価格は下落方向に転じるも、過去のコストによる生産・在庫計上とヘッジ取引、円安影響により下落影響の発現は、早いもので3Q、遅いもので4Q半ばに

2) 価格改定

- 計画に沿って順調に進捗。本格的な効果の発現は10月以降を予定

3) 市場環境（需要）

- 市場の需要は弱含む一方で、当社受注状況は概ね良好

4) 第1四半期における各事業の状況

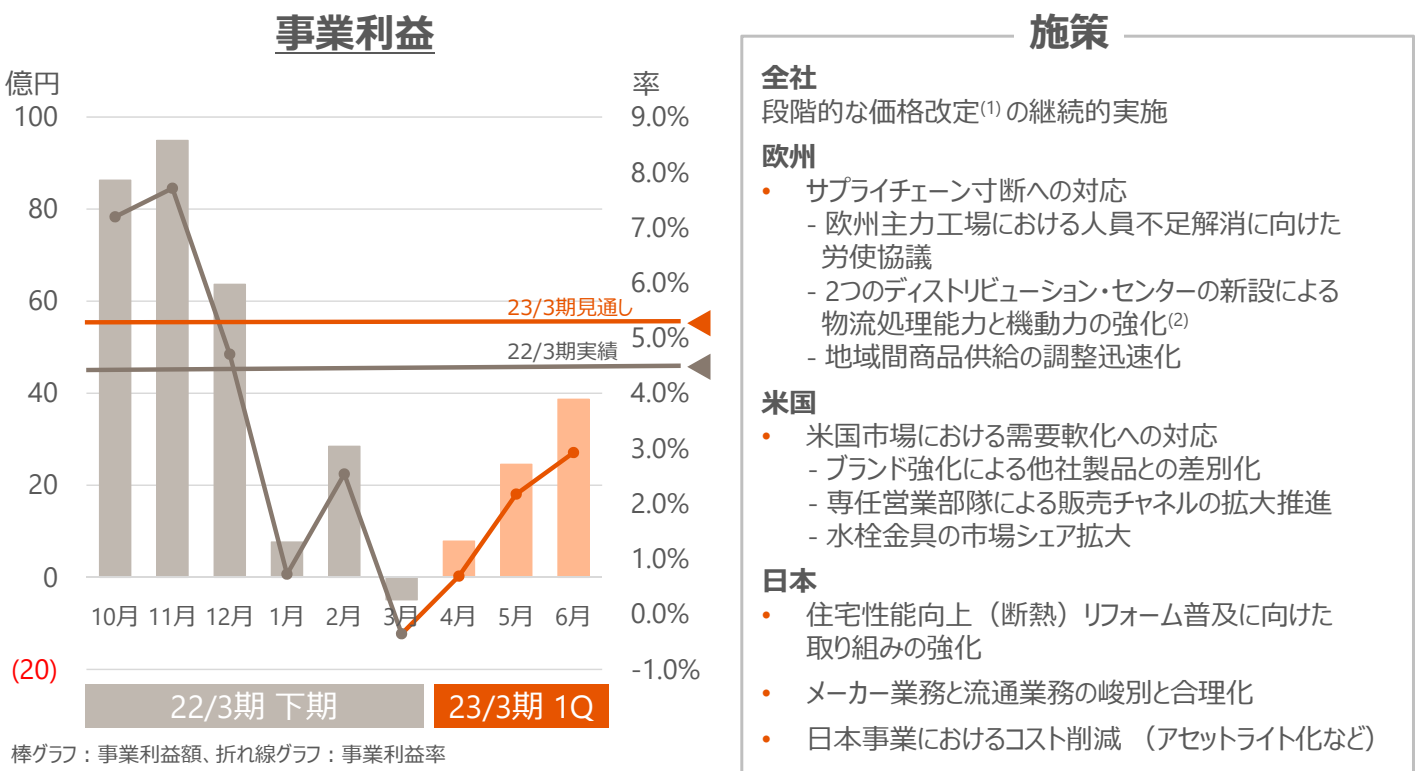
- LWT（日本）**：一時的な部品供給難への対応が奏功し、前年同水準の売上を確保。他方で対策コストが上昇
- LHT（日本）**：アルミ地金のヘッジと円安の進行により、コスト高が継続。採算面に影響
- LWT（海外）**：1Q売上成長の多くが為替影響。受注良好なるも、1Qは、サプライチェーン上の諸問題を背景として商品供給の安定化が課題に

LIXIL

2

本日のポイント

施策の段階的実行と効果発現により、利益率は順次回復



LIXIL

(1) 2021年12月7日公表 プレスリリース「原材料価格の高騰による住宅用建材・設備機器のメーカー希望小売価格の一部改定について」
2022年6月23日公表 プレスリリース「建材・設備機器のメーカー希望小売価格の一部改定について」
(2) p.26 事業・ESG関連トピックス「サプライチェーンの寸断と物流費の上昇への対応」参照

3

本日のポイント

今後の見通し：コスト環境は良化。ただし、影響の発現にはやや時間を要する

コスト環境

原材料コスト

- 銅：価格は下落傾向⁽¹⁾。過去ヘッジ分と在庫計上分により、コストへの本格的な反映は4Q半ば以降の見通し
- アルミ：大幅に下落⁽²⁾するも、過去のヘッジ分と為替影響により、1-2Qは期初コスト見込みを上回り、3Q以降に価格下落と円安影響が拮抗する見通し
- 鉄・樹脂：3Q以降の価格下落を見込む

物流コスト

- 海上輸送等の運賃水準は下落傾向なるも、2Qまでは過去運賃を反映した原価が計上される見通し
- 価格下落影響は、3Q以降に発現の見込み

半導体・ワイヤーハーネス・木製品など、その他のコスト

- 仕入の冗長化がサプライチェーンの寸断に対し奏功。一方で対応コスト高が継続
- 突発事項の発生頻度は低下。今後、緩やかに対応コストが減少することを期待

為替影響（円安影響）

- 地金（アルミなど）調達その他、海外工場からの部品・製品輸入への影響あり

今後のリスク要因

ロシアからのエネルギー供給リスク

- エネルギー消費が高まる冬期における生産にリスクあり
- ドイツ所在の工場は3つ。GROHE製品の約50%を生産
- ただし、ガス供給が45%削減される悲観シナリオでも代替エネルギーへの転換で生産高の減少は4.5%程度に留まると試算

労務問題

- コロナ禍による労働力不足、ストライキ・欠勤は工場の他、港湾・輸送業者でも頻発
- 商品供給の不足については、今後も注視が必要

中国におけるロックダウンの頻発

- 引き続き、仕入の冗長化により対応を予定

世界的需要の本格的減退

LIXIL (1) LME 月間平均価格（2022年）：ピークの3月におけるUSD10,246/トンから6月は、USD9,036/トン（-12%）

(2) LME 月間平均価格（2022年）：ピークの3月におけるUSD3,543/トンから6月は、USD2,585/トン（-27%）

4

2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

前年同期比で増収減益

■ 売上収益 3,603億円、前年同期比 4%増

- 1Q3ヵ月：国内 +0.4%、海外 +11%（為替影響除く、+1.4%）
- サプライチェーン寸断、中国ロックダウンの影響あるも、為替影響、国内リフォーム成長、アジア太平洋地域の経済活動回復進展により増収

■ 事業利益 70億円、前年同期比 161億円減

- 1Q3ヵ月：国内 -74億円、海外 -99億円、連結調整/他 +12億円
- 各種対応策⁽¹⁾の段階的な効果発現により、対前年同期比減益なるも、4月以降、利益率は徐々に回復

■ 最終四半期利益⁽²⁾ 57億円、前年同期比 111億円減

- 事業利益の減少を主因として減益

LIXIL (1) 各種対応策についてはp.3参照

(2) 最終四半期利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益

5

2023年3月期 第1四半期 連結業績結果

(億円)	22/3期	23/3期	前年同期比	
	1Q 3ヵ月	1Q 3ヵ月	増減	%
売上収益	3,458	3,603	+145	+4.2%
売上総利益	1,250	1,164	-86	-6.9%
(%)	36.2%	32.3%	-3.9pt	-
販売費及び一般管理費	1,019	1,094	+75	+7.3%
事業利益 ⁽¹⁾	231	70	-161	-69.8%
(%)	6.7%	1.9%	-4.7pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 ⁽²⁾	168	57	-111	-65.9%
EPS (円)	57.91	19.79	-38.12	-65.8%
EBITDA ⁽³⁾	431	269	-162	-37.5%
(%)	12.5%	7.5%	-5.0pt	-

- 事業利益率：4.7pt悪化（売上総利益率：3.9pt悪化、販管費率：0.9pt悪化）
- 売上総利益率・事業利益率：1Q時点では価格改定・固定費削減効果がコスト増を賄うに至らず、悪化
- 販管費：販売活動量の増加及び物流費の上昇により、前年同期比+75億円（日本+14億円、海外+34億円、為替換算影響+27億円）。販管費率は、海外における人件費・物流費率の上昇を主因に0.9pt悪化

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期損益

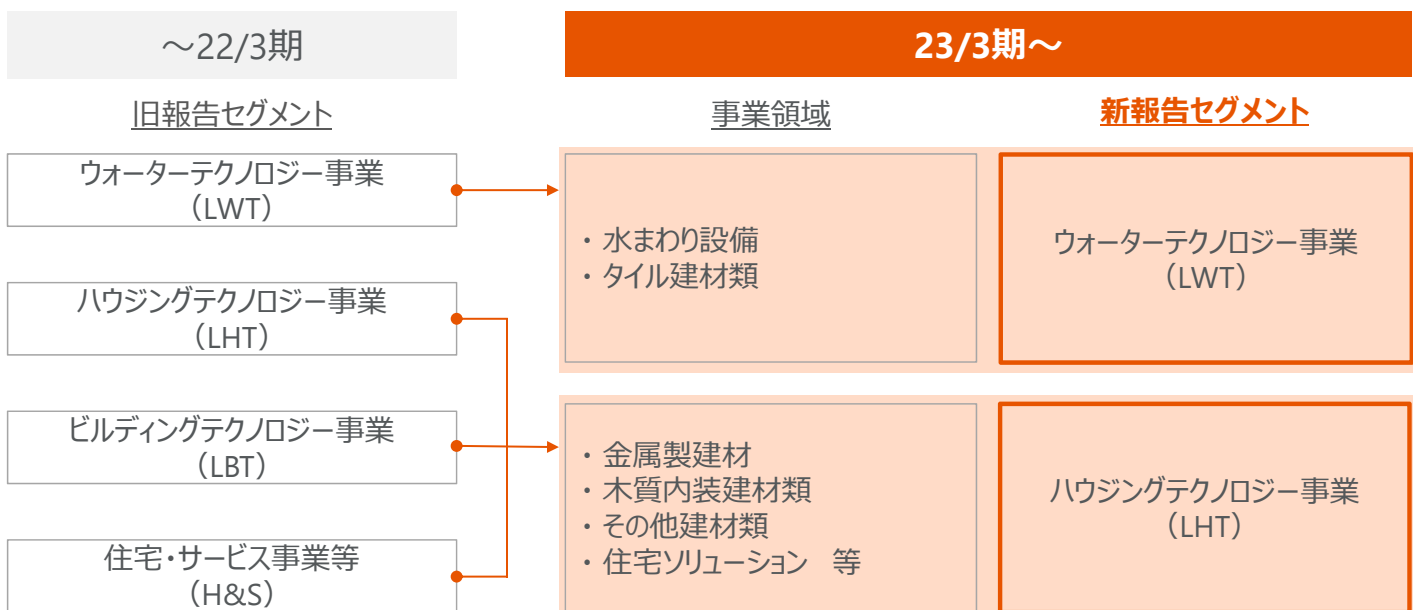
(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

6

報告セグメントの変更

成長と利益率向上を加速し、事業間連携を強化する組織体制へ

ビルディングテクノロジー事業（LBT）及び住宅・サービス事業等（H&S）をハウジングテクノロジー事業（LHT）に統合することで、一層の事業間融合を図る



LIXIL

7

▶ご参考：2023年3月期 第1四半期 業績概況（報告セグメントの変更）

旧報告セグメントによる1Q（3か月）業績は以下のとおり

		第1四半期 3か月		
		22/3期	23/3期	増減
旧報告セグメント (億円)				
LWT	売上収益	2,106	2,210	+104
	事業利益	237	132	-104
LHT	売上収益	1,148	1,167	+20
	事業利益	104	35	-69
LBT	売上収益	180	197	+17
	事業利益	-8	-8	-0
住宅・サービス事業等(H&S)	売上収益	72	68	-3
	事業利益	1	4	+4
全社/連結調整	売上収益	-47	-39	+8
	事業利益	-102	-94	+9
合計	売上収益	3,458	3,603	+145
	事業利益	231	70	-161

為替影響

1Q3か月：売上収益 +115億円、事業利益 +14億円

LIXIL

8

▶2023年3月期 第1四半期 業績概況（報告セグメントの変更）

ウォーター事業（海外）、ハウジング事業が増収に貢献。コスト高対応策効果により、全事業で直前四半期比では増益なるも、前年同期比では減益

		第1四半期 3か月				
		22/3期 ⁽¹⁾	23/3期	増減		
新報告セグメント (億円)				セグメント 変更による 増減 ⁽²⁾	セグメント 変更を除く 増減	
LWT	売上収益	2,106	2,210	104		
	事業利益	237	132	-104		
LHT	売上収益	1,394	1,430	36	+17	+20
	事業利益	99	31	-68	+1	-69
全社/連結調整	売上収益	-42	-37	5	-3	+8
	事業利益	-105	-94	12	+3	+9
合計	売上収益	3,458	3,603	145		
	事業利益	231	70	-161		

為替影響

1Q3か月：売上収益 +115億円、事業利益 +14億円

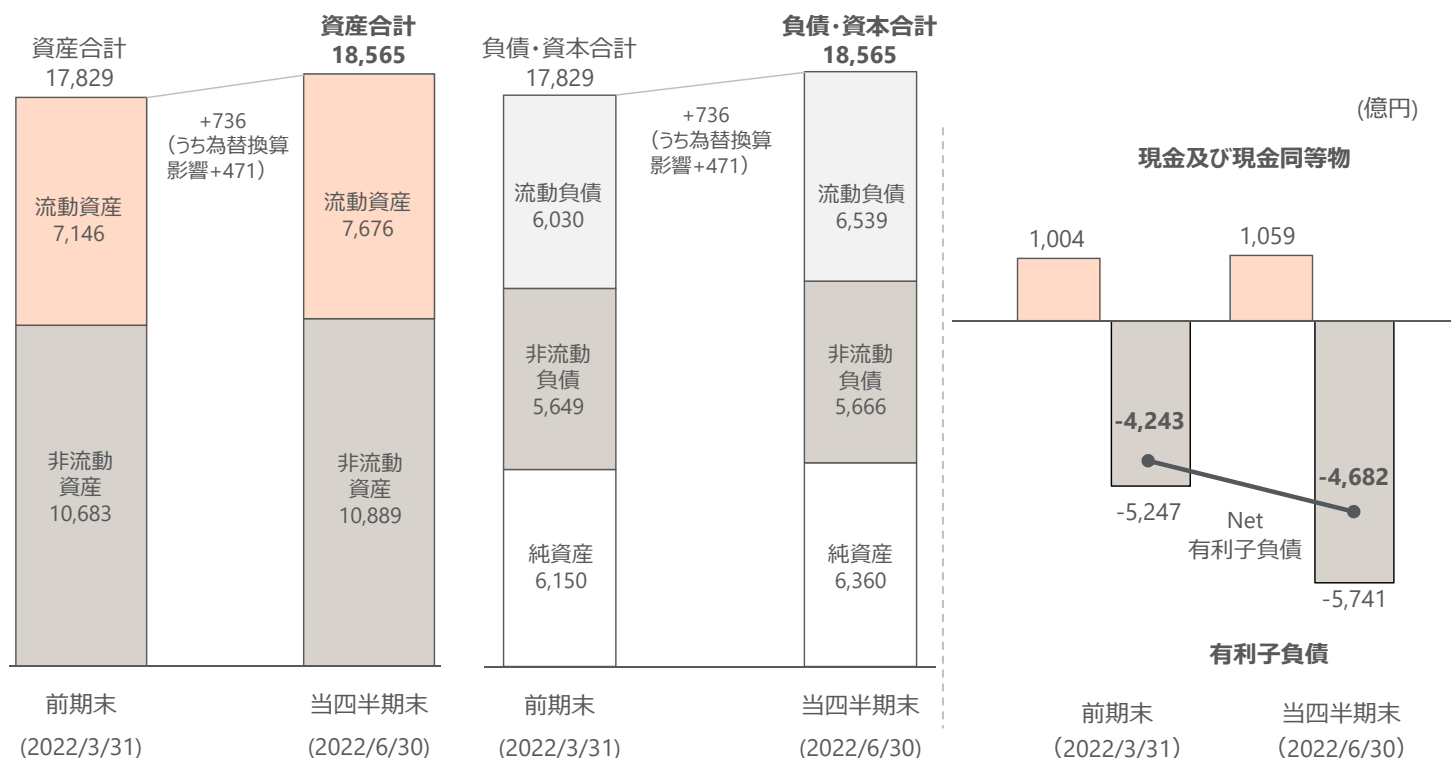
LIXIL

(1) 22/3期 通期・四半期実績については、2022年7月29日公表の「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご参照
(2) 4報告セグメントから2報告セグメントに変更したことに伴う連結調整額を含む

9

連結財政状態

総資産は、主としてサプライチェーンの寸断への対応としての在庫水準の引き上げと資材高騰による単価上昇、為替影響により増加。自己資本比率は、34.1%

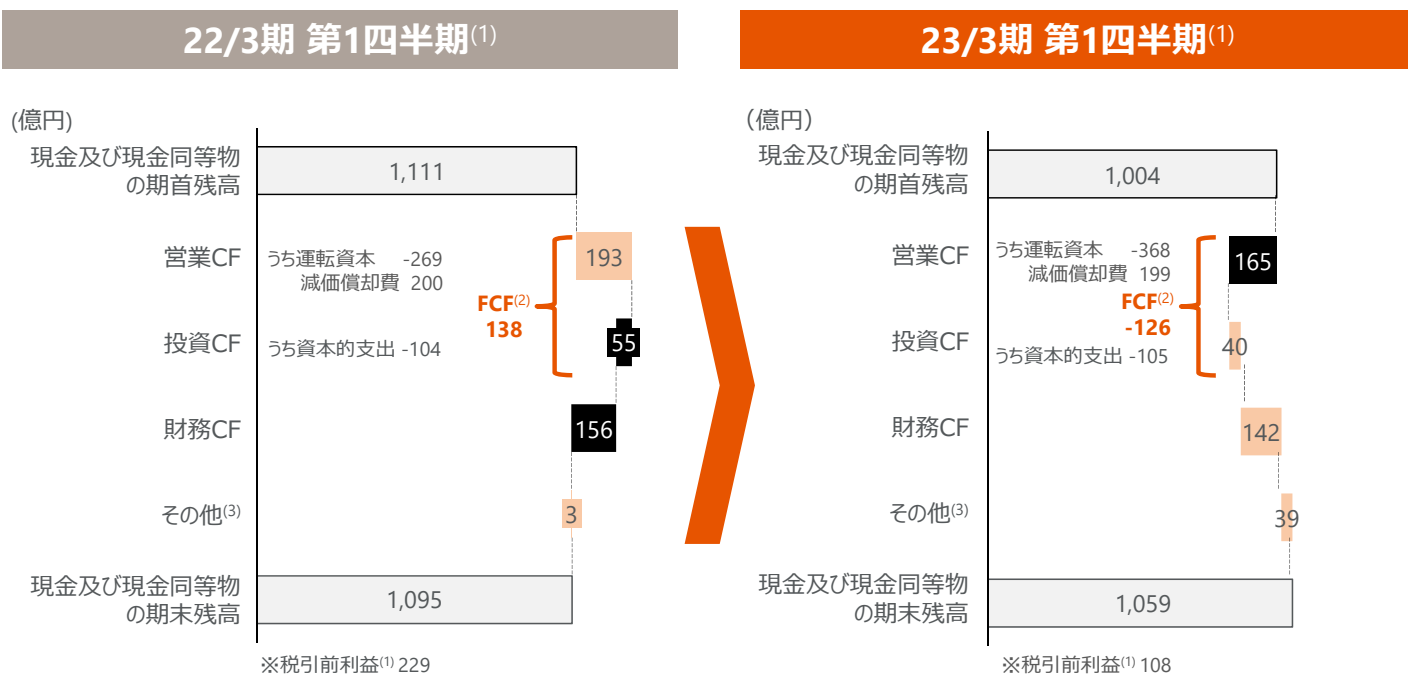


LIXIL

10

キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、アセットライト化促進により増加するも、在庫水準の引き上げ・資材高を主因とした棚卸資産残高増加による運転資本の減少、税引前四半期利益の減少により前年同期比では264億円の減少



LIXIL

(1) 非継続事業を含む
(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 「その他」 = 為替換算影響額

11

セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

12

ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業は売上前年同水準、微減益

海外事業は増収なるも、インフレによるコスト増により減益

(億円)		23/3期 1Q実績	前年同期比		23/3期 通期計画
			増減	%	
日本	売上収益	992	+0	+0.0%	4,330
	事業利益	73	-5	-5.8%	385
	%	7.4%	-0.5pt	-	8.9%
海外 ⁽¹⁾	売上収益	1,218	+104	+9.3%	5,020
	事業利益	59	-100	-63.0%	500
	%	4.8%	-9.4pt	-	10.0%
LWT合計	売上収益	2,210	+104	+4.9%	9,350
	事業利益	132	-104	-44.1%	885
	%	6.0%	-5.3pt	-	9.5%

売上収益

- **日本**：前期下期の一部機器調達難影響が概ね解消したことにより、リフォーム売上が回復。前年同水準を維持
- **海外⁽¹⁾**：物流ひっ迫、中国でのロックダウンなど外部環境影響受けるも、アジア太平洋地域での売上がカバーし、現地通貨ベースでは前年と概ね同水準。円貨では増収
- **海外売上比率**：前年同期比2.2pt増の55.1%

事業利益

- **日本**：価格改定、及び、中高級品価格帯商品売上の好調により、利益額・率、共に前年同期比で微減益
- **海外⁽¹⁾**：コスト増影響の反映により、特に好調だった前年同期比で減益。ただしコスト増に即した価格改定により、直前四半期比で概ね横ばい
- **海外事業利益比率**：前年同期比22.6pt減の44.5%

LIXIL (1) 為替影響を除く：売上収益 -11億円、-1%。事業利益-72%

13

ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別：マネジメントベース LWT海外合計：制度会計ベース ⁽¹⁾ (億円)	23/3期 1Q実績	前年同期比 現地通貨 ベース	23/3期 通期予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	390	-3%		+16%
欧州、中東、アフリカ地域	488	-3%		+10%
中国	140	-11%		+11%
アジア太平洋地域	130	+25%		+13%
連結調整・他	70			
LWT海外	1,218	+9%	5,020	+8%

■ アメリカ

物流のひっ迫影響等により現地通貨ベースで減収。
円貨では増収

- ✓ 物流ひっ迫影響を強く受け、現地通貨ベースで減収
- ✓ 販売チャネル別では、小売り向けが前年同期比増収なるも、その他販売チャネルで減収（現地通貨ベース）

■ 中国

4-5月におけるロックダウン影響を主因として減収

- ✓ ロックダウン影響により、現地通貨ベース、円貨共に減収。ただし、ブランドミックスは良好

■ 欧州、中東、アフリカ地域

物流のひっ迫影響等により現地通貨ベースで減収。
円貨では増収

- ✓ 受注は依然堅調。ただし、物流ひっ迫影響を強く受け、現地通貨ベースで減収
- ✓ より強靱なサプライチェーンの構築への対応として物流センター2カ所を設立

■ アジア太平洋地域

経済活動の回復進展により増収

- ✓ インド・ベトナム・タイが増収を牽引
- ✓ 販売チャネルでは、小売り・プロジェクト共に回復中

LIXIL (1) 制度連結会計 為替レート： 23/3期 1Q実績1USD=129.04円、1EUR=138.24円
マネジメントベース為替レート： 23/3期 1USD=115円、1EUR=131.1円で比較

14

ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

体質強化施策は着実に進展。原材料・資材価格上昇影響により、増収なるも減益

	(億円)	23/3期 1Q実績	前年同期比		23/3期 通期計画
			増減	%	
日本	売上収益	1,363	+9	+0.7%	5,805
	事業利益	30	-69	-70.1%	370
	%	2.2%	-5.1pt	-	6.4%
海外	売上収益	66	+27	+68.6%	185
	事業利益	2	+1	+280.0%	5
	%	2.6%	+1.4pt	-	2.7%
LHT合計 ⁽¹⁾	売上収益	1,430	+36	+2.6%	5,990
	事業利益	31	-68	-68.5%	375
	%	2.2%	-4.9pt	-	6.3%

売上収益

- 住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要の増加により、前年同期比増収

事業利益

- 体質強化施策及び価格改定の推進、アセットライト化が軌道に乗ったことにより、直前四半期比で利益率は回復
- ただし、価格改定は進展するも、主として為替影響を背景とした、想定を上回る原材料・資材価格の上昇により、前年同期比では減益

LIXIL (1) 2023年3月期1Q実績（旧セグメント） LHT 売上収益 1,167億円、事業利益 35億円、事業利益率 3.0%
LBT 売上収益 197億円、事業利益 -8億円、事業利益率 -4.0%
H&S 売上収益 68億円、事業利益 4億円、事業利益率 6.3%

15

➤ (ご参考) データ集

16

➤ 商品・サービス別売上状況

水まわり製品は、前年度下期の一部機器調達難影響は概ね解消。住宅性能・快適性の向上を目的とした商品需要が1Qにおける売上伸長を牽引

セグメント	主要商品名	(億円)				(%)								
		22/3期 通期実績	22/3期 1Q実績	23/3期 1Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比				23/3期 1Q				
						22/3期								
		1Q	2Q	3Q	4Q									
LWT	衛生機器**	1,047	244	245	+0.4%	+0.9	-3.9	-0.1	+0.2	+0.4				
	バスルーム	859	218	213	-2.4%	+10.7	-2.9	-3.3	-8.2	-2.4				
	洗面化粧台**	391	90	92	+1.8%	+13.7	+6.6	+2.9	+0.6	+1.8				
	キッチン	1,019	246	247	+0.3%	+9.5	+4.8	+1.8	-7.5	+0.3				
	タイル	328	78	74	-4.2%	-1.6	+0.2	+0.6	-2.2	-4.2				
LHT	住宅サッシ	1,642	412	407	-1.2%	-2.0	-4.3	-6.6	-3.9	-1.2				
	エクステリア	1,014	260	260	+0.0%	+3.1	+1.2	+0.7	+3.0	+0.0				
	インテリア建材	623	149	151	+1.4%	-3.1	+0.5	-0.7	+2.4	+1.4				
	その他LHT	409	92	107	+17.0%	-36.5	-32.9	-30.3	+14.7	+17.0				
	ビルサッシ ⁽¹⁾	893	180	197	+9.3%	-15.4	-9.4	+2.3	+4.6	+9.3				
	住宅・サービス事業 ⁽¹⁾	303	72	68	-4.8%	-36.5	-32.9	-44.7	-21.7	-4.8				
	海外売上 ⁽¹⁾⁽²⁾	4,523	1,154	1,284	+11.3%	+49.6	+6.2	+13.0	+10.0	+11.3				
その他・連結調整等	1,236	264	258	-										
売上合計		14,286	3,458	3,603	+4.2%	+11.4	+0.1	+0.8	+3.3	+4.2				
(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況														
LWT	水栓金具	247	57	57	-0.3%	+17.9	+13.6	+16.1	+7.5	-0.3				

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要好調により、リフォーム商材売上構成比0.7pt上昇

(億円)	第1四半期 3か月			
	22/3期実績 ⁽¹⁾	23/3期実績	増減	前年同期比
リフォーム商材売上	753	780	+27	+4%
LWT-J				+1%
LHT-J				+7%
ビル事業除く				+3%
ビル事業				+61%
リフォーム売上構成比	40%	41%	+0.7pt	

セグメント別リフォーム売上構成比

	22/3期 1Q	23/3期 1Q	増減
LWT	48%	48%	+0.7pt
LHT	34% ⁽¹⁾	35%	+0.9pt
国内・計	40%	41%	+0.7pt

リフォーム加盟店の推移

店	21年 3月	22年 3月	22年 6月
LIXILリフォームショップ (FC)	540	536	539
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,373	11,264	11,322
リクシルPATTOリフォームサービスショップ	3,817	3,804	3,816

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

18

海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

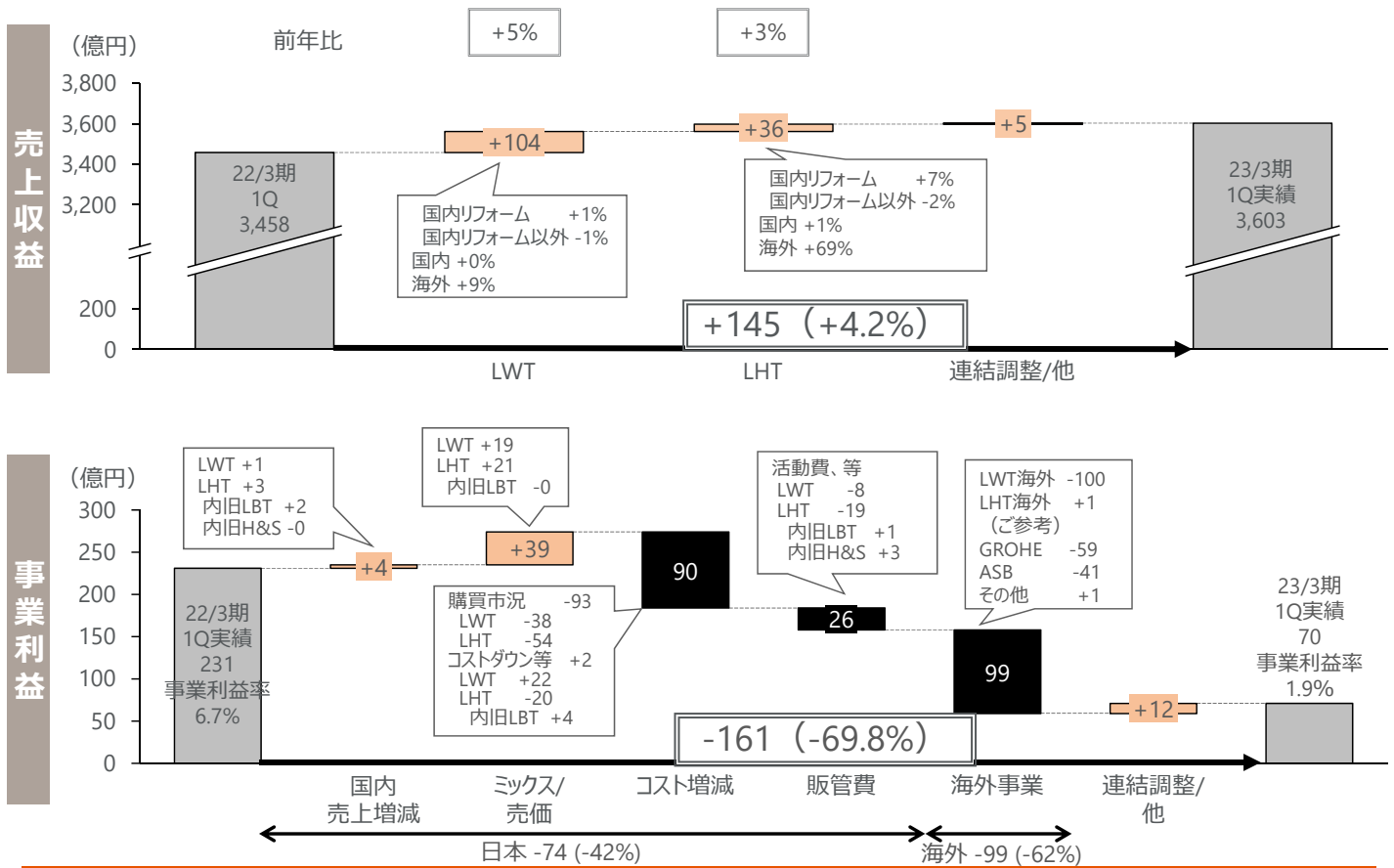
ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

売上構成比	23/3期 第1四半期 3か月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
水栓金具 (浴室)	43%	13%	64%	53%	42%
衛生陶器等	38%	52%	23%	40%	53%
水栓金具 (キッチン)	8%	5%	13%	4%	3%
浴槽・シャワーシステム	7%	21%	0%	1%	1%
その他	4%	10%	1%	3%	1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率					
水栓金具 (浴室)	-2%	-11%	-4%	-2%	+44%
衛生陶器等	+1%	-1%	+7%	-21%	+24%
水栓金具 (キッチン)	-14%	-19%	-12%	-33%	+19%
浴槽・シャワーシステム	+5%	+4%	-10%	-17%	+108%

LIXIL (1) LIXIL統合報告書2022 p.27-28 「LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』」
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_y26/119886/00.pdf#page=28

19

2023年3月期 第1四半期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

20

2023年3月期 第1四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	22/3期 1Q実績	23/3期 1Q実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	24	52	+28
その他	7	16	+9
その他の収益	31	68	+37
有形固定資産処分損	5	7	+2
減損損失	8	1	-8
その他	10	10	+1
その他の費用	23	17	-6
受取利息	4	3	-1
受取配当金	10	7	-2
デリバティブ評価益	7	1	-6 (A)
為替差益	-	2	+2
金融収益	20	13	-8
支払利息	11	11	-1
為替差損	11	-	-11 (A)
その他	1	3	+2
金融費用	23	13	-10

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

	22/3期 1Q実績
デリバティブ評価益	7
為替差損	-11
Net	-4 損

LIXIL

21

セグメント別 実績及び通期業績予想

新報告セグメントによる前年度開示数字については、2022年7月29日公表の適時開示「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご参照

	(億円)	22/3期 1Q			23/3期 1Q				23/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年同期比%	国内	海外	計	前期比%
LWT	売上収益	992	1,114	2,106	992	1,218	2,210	+4.9%	4,330	5,020	9,350	+8.4%
	事業利益	78	159	237	73	59	132	-44.1%	385	500	885	+15.5%
	%	7.9%	14.2%	11.2%	7.4%	4.8%	6.0%	-5.3pt	8.9%	10.0%	9.5%	+0.6pt
LHT ⁽¹⁾	売上収益	1,354	39	1,394	1,363	66	1,430	+2.6%	5,805	185	5,990	+2.5%
	事業利益	99	0	99	30	2	31	-69.3%	370	5	375	+18.4%
	%	7.3%	1.1%	7.1%	2.2%	2.6%	2.2%	-5.1pt	6.4%	2.7%	6.3%	+0.8pt
連結調整・他 ⁽²⁾	売上収益			-42			-37	-			-140	-
	事業利益			-105			-94	-			-450	-
LIXIL ⁽²⁾	売上収益	2,346	1,154	3,458	2,355	1,284	3,603	+4.2%	10,135	5,205	15,200	+6.4%
	事業利益	177	159	231	103	61	70	-69.8%	755	505	810	+24.8%
	%	7.5%	13.8%	6.7%	4.4%	4.7%	1.9%	-4.7pt	7.4%	9.7%	5.3%	+0.8pt

LIXIL

(1) LHTのうち、複数の事業をグローバルに行っている会社業績の国内と海外の内訳を変更しており、それに伴い前年実績も変更
(2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

22

主要海外子会社

ASB (ASD Holdings)	22/3期 1Q 実績	23/3期 1Q 実績	前年同期比	(百万米ドル)
為替レート(期中平均レート)	110.00	129.04	-	
売上収益	349	339	-3%	
事業利益	31	-5	-	
事業利益率	9%	-2%	-	

決算期	22/3期 期末残高	23/3期 1Q (3ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	122.39	129.04	-	136.68
のれん	227	-	0	227
無形資産	200	-1	0	199

Grohe Group (グローエ)	22/3期 1Q 実績	23/3期 1Q 実績	前年同期比	(百万ユーロ)
為替レート(期中平均レート)	131.78	138.24	-	
売上収益	455	461	+1%	
事業利益	89	42	-52%	
事業利益率	19%	9%	-10.2pt	

決算期	22/3期 期末残高	23/3期 1Q (3ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	136.70	138.24	-	142.67
のれん	1,203	-	12	1,215
無形資産	1,417	-3	0	1,414

LIXIL

(1) 為替換算差額など

23

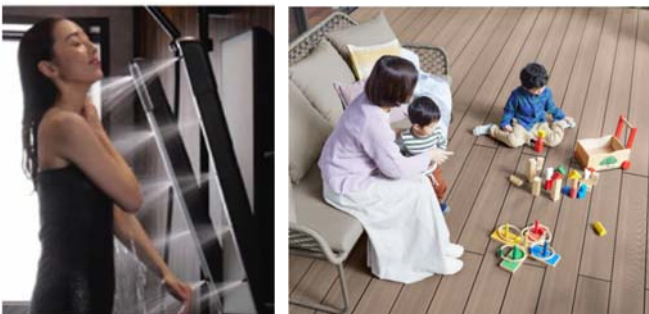
➤ (ご参考) 事業・ESG関連トピックス

24

➤ 事業・ESG関連トピックス

環境配慮型商品の拡充

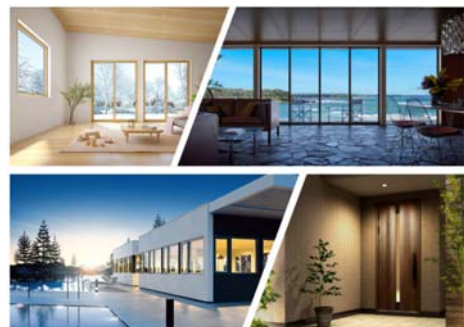
「ボディハグシャワー」⁽¹⁾、 「デッキDC」⁽²⁾新発売



- 環境ビジョン2050の達成に向けて⁽³⁾、2050年までに事業プロセスと製品・サービスによるCO₂排出量を実質ゼロを目指すことを目指した取り組みを強化
- 「ボディハグシャワー」は、「シャワーでも温まりたい」という多様化するニーズに応えるとともに、エンドユーザーのエネルギー使用を低減、また既存のお風呂に設置しやすい設計で工事付き商品としても購入可能
- リサイクル材使用の「デッキDC」は、社会全体のCO₂削減につながる資源の循環利用の促進に貢献

住宅の高性能化による 脱炭素化の推進が評価

TOSTEMの高性能窓・玄関ドアが2021年度 「環境省LD-Tech」にて認証を取得⁽⁴⁾



- 日本の脱炭素化を促進し、CO₂削減に最大の効果をもたらす製品を認証する、2021年度「環境省 LD-Tech」においてTOSTEMの高性能ハイブリッド窓「TW」、樹脂窓「EW」、高断熱玄関ドア「グランドル2」を含む計4製品の一部分目が認証を取得
- 住宅の断熱性能を高める上で、窓や玄関ドアなどの開口部が重要な役割を担う中で、2026年3月期までに窓の高性能比率100%を目指し⁽⁵⁾、住宅の脱炭素化を推進

LIXIL

(1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/20220502>

(2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/22041501>

(3) CO₂排出量削減の新たな中間目標を設定 https://newsroom.lixil.com/ja/20220620_tcf

(4) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2022062201>

(5) 新築戸建住宅向け 高性能窓比率 2022年3月期 80%

25

事業・ESG関連トピックス

サプライチェーンの寸断と 物流費の上昇への対応

セントラル(CDC)、リージョナル・ディストリ ビューション・センター(RDC)を設立



- より機動的で強靱なサプライチェーンの構築に向け、さらなる物流能力を増強すべく、ドイツ北西部にCDC、ドバイにRDCを新設
- 新設されたディストリビューション・センターは、最新鋭のプロセスと設備により、短納期で製品の安定供給を実現
- 再生可能エネルギー由来の電力を使用。事業活動を通じて気候変動の緩和に貢献

デジタルを通じた企業価値向上への 取り組みが評価

「デジタルトランスフォーメーション(DX)銘柄 2022」に選定⁽¹⁾



DX銘柄2022
Digital Transformation

- 経済産業省、東京証券取引所、独立行政法人情報処理推進機構が共同で実施する「DX銘柄2022」に選定
- デジタル化の実践、DXの社内環境整備、IT環境の整備などに加え、新たな顧客の獲得、社会課題の解決に貢献しつつ、将来の新たなビジネスの柱の構築につなげている点が高い評価を獲得

LIXIL ⁽¹⁾ ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20220608_dx

26

事業・ESG関連トピックス

ESGへの継続的な取り組みが高評価

「FTSE4 Good Index Series」、 「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」の 構成銘柄に6年連続で選定⁽¹⁾



FTSE4Good

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

- LIXILがESG分野の取り組みを着実に前進させ、透明性の高い情報開示を行ってきたことにより、世界的な投資指数の構成銘柄に6年連続で選定
- 引き続き、ESG課題への対応をリスク管理だけでなく機会と捉え、インクルーシブな組織構築の加速、環境ビジョンの実現に向けて前進、社会に前向きなインパクトを生み出すための取り組みを継続

2022年3月期の取り組みをまとめた CR報告書を公表

「コーポレート・レスポンスビリティ報告 2022」⁽²⁾



- **CRガバナンス体制の強化**：サステナビリティ関連の課題に対する取締役会の監督責任を明確化
- **人権尊重の取り組みを加速**：人権デューデリジェンスの活動として、潜在的な人権リスクを把握
- **グローバルな衛生課題の解決**：SATO事業や地域に根差した活動の記載を拡充
- **水の保全と環境保護**：TCFDシナリオ分析の対象事業を拡大し、対応策とともに情報開示
- **多様性の尊重**：インクルージョン文化の醸成のため、グローバル規模の従業員リソースグループを設立

LIXIL ⁽¹⁾ プレスリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20220726_ftse
⁽²⁾ CR報告書 https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr_library/pdf/LIXIL_CR2022_ja.pdf

27

外部評価

デジタルトランスフォーメーション(DX)銘柄2022
デジタル化の実践、DXの社内環境整備、IT環境の整備など幅広い取り組みが評価され、DX銘柄に選定
(2022年6月)



FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
FTSE Russell社の「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定
(6年連続、2022年6月)



MSCI日本株女性活躍指数(WIN)
MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定 (6年連続、2022年6月)

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

Disclaimer
The inclusion of LIXIL Corporation in any MSCI index, and the use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement or promotion of LIXIL Corporation by MSCI or any of its affiliates. The MSCI indexes are the exclusive property of MSCI. MSCI and the MSCI index names and logos are trademarks or service marks of MSCI or its affiliates.

MSCI ESG Ratings
MSCI社の「ESG Ratings」がAからAAに、2年連続でランクアップ (2022年5月)

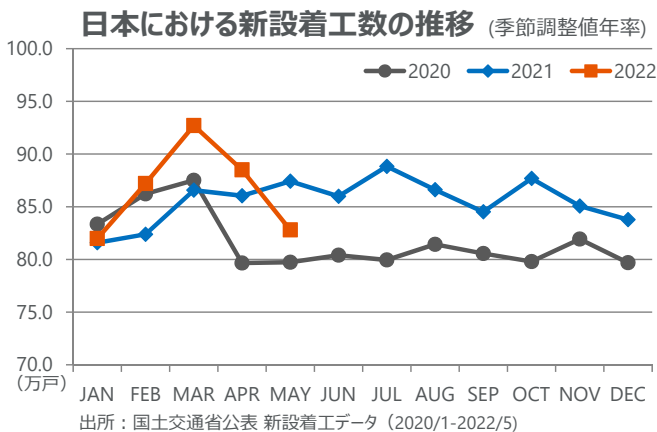


Disclaimer
The use by LIXIL Corporation of any MSCI ESG Research LLC or its affiliates ("MSCI") data, and the use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement, recommendation, or promotion of LIXIL Corporation by MSCI. MSCI services and data are the property of MSCI or its information providers, and are provided 'as-is' and without warranty. MSCI names and logos are trademarks or service marks of MSCI.

LIXIL

28

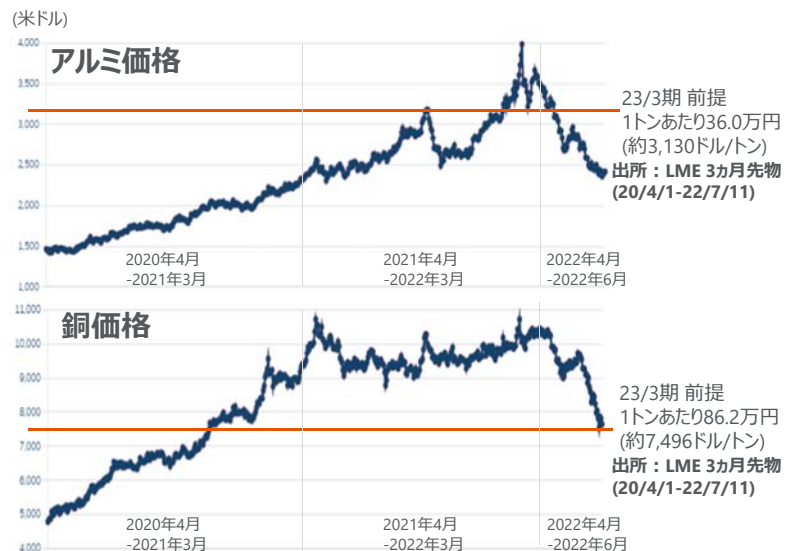
事業環境



新築着工水準 (対前年比)

- 2022/1-3 : +4.9%
- 2022/1-5 : +2.4%

	2022年1月-5月 (5カ月)		2022年4月-5月 (2カ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	343,911	+2.4%	143,487	-0.8%
持家(1)	99,981	-7.2%	42,347	-7.5%
貸家	134,438	+8.9%	55,467	+2.9%
分譲マンション	47,670	+3.3%	20,254	+0.2%
分譲戸建(2)	59,393	+7.2%	24,361	+4.1%
戸建合計(1)+(2)	159,374	-2.3%	66,708	-3.5%



為替 (期中平均レート)	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 計画前提
米ドル	106.17円	112.86円	115.0円
ユーロ	123.73円	131.01円	131.1円

原材料価格の 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	19.9万円/トン	30.5万円/トン	36.0万円/トン
銅価格	60.3万円/トン	86.8万円/トン	86.2万円/トン

LIXIL

29



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現